

人形芝居の話

— 幼稚園談話會講演の主要筆記 —

倉 橋 惣 三

今日は後にお茶の水人形座若手幹部總出の實演
がありますので、その用意の出來ます迄、暫く皆
様のお足をとどめて、人形芝居の前語りをさせて
いただきます。五月の會らしく氣樂に。

私は八九年前に、お茶の水人形座をこしらへま
したが、その舞臺開きの初日はやつぱり斯んな會
合で、あの時御覽下すつた方もいらつしやいませ
う。あれ以來、園内では時々開演して子供達をよ
ろこばせて居ります。面白いものですね。「おはな
し」は勿論子どもによろこばれますが、之れには
又違つたおもしろさがあります。

私が人形芝居くといひますので、「何故、人形
芝居を見せなくちやならぬか」と、おたずねにな
る方があります。權威的、理論的な根據をと仰
るのでせうが、私はそれに對してたゞ一言「私が人
形芝居が好きだから」と答へます。すると、そん
な事で——好きだからなどといふことで、嚴肅な
保育が出來るかと仰るかも知れません。ところが
私の宗旨は違ひます。自分で好きな事は見せてや
りたい、といふ常識的な考へ方です。但し、好き
だからといつて老境に入りつゝある身が、朝顔の
丹精はな、なか／＼に面白いものだから孫達にも

……といふ風のではない。もつと精しくいへば、私が子供の時に好きだつたからと申しませう。今の言葉でいふと私は子どもの時から人形芝居ファンだつたのです。それを思ひ返して見ると、可愛い私の子供にも見せてやりたい。次には幼稚園の子供にも見せてやりたいのです。これが、人さまに物好きと笑はれる根據です。

私が人形芝居を始めて面白がつたのは丁度幼稚園の年齢でした。私の家に人形芝居の好きな書生が居りまして小さな鬘を種々こさへ、頭に被せちやも姫様だの悪人にして芝居をさせました。今でもその人形芝居の舞臺面が最も明りした記憶に残つて居りますが、ゲートルもウキルヘルム・マイステルに人形芝居の事を書いて居りますね。自分の家に舞臺があつて、其處へ行つてはいぢつて遊んでた事をきれいな文で書いてあります。私はこれを讀んだ時に嬉しかつた。共通の經驗に快感を覺

えました。ドイツのえらい文豪と、日本のへつばこの私と兩端が代表的に斯くあるものなら、中間の諸姉にも普遍性のある理屈ぢやありませんか。

小學校時代には、往來の大道人形芝居が行はれてゐました。その頃、吾妻橋近くに家があつて、橋を渡つて淺草の學校に通つてゐましたが、毎日學校歸りに必ず立ち止つてみたものでした。その芝居は純歌舞伎式で、手拭を三角に折つたのを頭にのせ、お上さんは三味線、男は拍子木、太鼓。つまり下坐いりのにぎやかなものでした。四谷怪談、「累」のようなものをよくやりましたね。一體あの時代の芝居が多くは、性慾と險慘との犯罪藝術で、殊に人形芝居はそれで人を呼びました。今から考へれば随分と非教育的で、子供向きのものではありません。併し印象の強いもので、多くの町の子が町か町へ、人形芝居の後を追ふて、夕焼にびつくりして、馳けて歸つて行くといふ風でし

た。幼時期の不良趣味ですね。これが私の大道人形芝居に對する興味の第一でした。

中學校時代になつて、この時代には結城孫三郎の「繰り」に心酔しました。淺草の並木、神田の白梅などで始終見ました。演るものは矢張り歌舞伎ものでした。ところが、——此の處何十年相立ち申して後、——親父になつて、——代々木に住む頃——代々木の寄席に孫三郎がかゝつたのを聞いて獨りて出かけた所、やつてゐるものが意外に「桃太郎」です。こんな物とは思はなかつたので、こつそり出かけたのですが、で、大急ぎでそこらの車夫二三人に命ひつけて子供を迎へにやつて見直した事があります。丁度それが純カブキでないものを使つて、人形芝居を子ども向きに利用したいと考へて居た時だつたのです。そこで孫三郎と會つて話をしました。が、私共の氣持は分つてくれません。どうもそれぢや舞臺が動かない」といふ調

子です。人形が充分動かずともよいから、主旨を通したいといふ教育者とは話のあはないのも當り前かも知れませんが。但し、その後もずる分孫三郎の妙技をひいきにして、いつてしたか此の學校の講堂でやらせた程熱心だつたものです。

文樂の興味は今日にづいて居ります。これは日本固有、世界一の藝術品です。尤も、文樂になりますと、謹んで拜見、拜聽してゐますので私などの手も口も出ません。完成藝術ですから吾々が行つて何うしようもありません。但し或時、文樂の若い人がはるく訪ねて来て、人形も現代式に出来ぬものだらうか。在來の淨瑠璃の古傳統から出られぬものでしょうか。一つ新しい筋を書き下してくれませんかといふ相談を受けた事もありましたが。

外遊中、みました所ではアメリカのマリオネツ

トはかなり藝術的に高級なもので、我々の考へる大道藝術の民衆的子供向ではありません。

イギリスのバーミンガムへ出かけた時の事、ステーション前で人形芝居をやつて居りました。其日は労働者教育の見學の豫定だったので、その大道人形の前で立ち止つたきりになつてしまつたのです。それは箱舞臺で、ポンチを使つてやつてゐる。言葉は俗語英語で私には分らないのでしたが長い時間くつついて見物してゐました。ロンドンに歸つてから人に尋ねて見ますと、場末には同じ人形芝居があると教へられて、幾日か見て廻りました。これは稍や大仕掛で町から町へ車を押しに行きます。人形の形も使ひ方も粗いものですが、人形芝居の放膽味を持つてゐるのはイギリスだと思ひましたね。下題によつて人形が變つたりしない。同じものが一度引つ込めば變つた役どころになつて出て來るのです。それで子供にはちや

んと分つて居ります。

フランスでは例の有名な人形芝居がシャンゼリゼーの公園の中に常設的にあります。リュクサンブル公園のは藤村さんのフランスだよりで皆さん御承知のことです。大きな舞臺で前にベンチがあり、大人もゆつくり見るといふ風でした。あやつりで相當に細かい動きが出ますがイギリスのポンチに當るギニョールがさつと出ます。何の筋にでも出て、殊に一番仕舞に此のギニョールが、こつん／＼撲られると大喝采になるのです。丁度丸一の道化のようにどんな芝居にでも出ます。

ドイツでは大きな玩具店で人形芝居の舞台セツトを賣つて居りますし、旅興行の藝人が地方の寄席や公會堂でやります、私はライン地方で幾つか見ましたが、さすがにこの方面の發達した所だけあつて立派な脚本でやつて居ります。

最近私の興味をもつてゐるのは紙芝居といふや

つです。今では昔流の大道芝居は滅多に見ません。それに代つたのが紙芝居です。此の紙芝居は、十

二三年前にはじまつたものでせうか。震災後著しくなつたようです。皆さんのような上流の方々は御存じないでせうが。

紙芝居は飴を賣るのが目的です。太鼓と拍子木だけで、脚本は「國定忠次」とか「次雷也」「孫悟空」など。最近、この脚本を卸す元へ行つてみましたら、「新版血染小櫻」といふようなものもありました。やり方は箱舞台に孔があつて、人形は田樂式に下に串がついてゐて、口上と共に出て來た人形を孔に立てる。これが普通のもので、最近新しい型として、鏡面を利用してラクに人形を動かせるのが出て居ります。人形芝居は何處迄單純化出来るかといふ點で、紙芝居には實に心服させられます。大に利用出來そうだと思つて目下研究中です。世間はいろいろの努力をして居りますね。「幼稚園で

は世間でしてゐることはせぬ」といふのなら意見が違ふのですがね。

さて、こゝの人形坐のやり方は後に實演しますものが、標準ではありません。何んな仕方でもよろしい。よろしいが、只考へたい事は、むつかしい練習をしなければ出來ぬものでは困る。むつかしい稽古をしなければ出來ないとなると一般に普及しない。私は家庭にも普及させたいのです。ところで此處ぢや指人形でして居ります。顔だけ作つて手袋式の着物をつけて親指と人指、中指の三本を使ふのです。顔は何でもいゝんですけれども、出來ることならいゝものをしてやり度くもありません。大體に於て、一つの筋書に添ふた人形を用意するのがよろしい。今フレールベル館で舞台といつしよに人形を工夫して貰つて居ります。

最後に、人形芝居を見てゐる子ども心の動きは

どうか。その第一はいふまでもなく、立體表現の満足です。之れは「おはなし」が、どうかすると筋を平面的に辿り易いのに較べて、著しい特色をなします。第二は、想像活動の活潑さです。事件の筋、即ち「地」を語らないで、人形の動きとせりふだけでゆくのですから、想像をはたらかさずには見てゐられません。つまり、一切が直接説話法だけでやるのですから、話の地の全部を想像に委せる所に人形芝居の特殊な意義があるのです。それから終に幕をしめること、これがおもしろいですな。皆さんも御経験のように、「お話」の一番引くことは引つ込みです。そこで、つい言はなくてもいゝ結論などを持ち出したりする。それが人形芝居では劇の進行の極致のところ、さつさと幕をしめるのです。そして幕をしめた後に餘韻が残つてゐる。こゝが妙味です。勿論、幕切れをどう

するかは大事なこつです。

生きた人が芝居をするのはむつかしい。自分を現はすなら出来るが、脚本中の性格を出さうといふのはむつかしい。人形自身には性格がない。見えてゐる子供が性格を創造して居ます。人形に魂を入れるのはむつかしいといひますが子供はぢきに入れます。此の他、脚本そのものが興へる教育効果は勿論の事ですが、人形の動きの大まかな、一體にのんきな味も人形芝居の大きな長所です。う。テンポの早い現代に、子供の間だけでも暫く時代を超越させておきたいものじゃありませんか。——口上はまあ此位にして、愈々實演をしていただきます。 (文責記者)

x

x

x

x

x

x